

## 1. 特に効果的であり改善に資した事例について

### C. 教員の教育・研究指導能力の向上のための方策

#### ③教育効果・成果についての検証と教育プログラムを改善するシステムの構築

##### ●立命館アジア太平洋大学経営管理研究科経営管理専攻

##### 「立命館アジア太平洋大学 MBA プログラム」の事例

(具体的に何を実施したのか)

国際認証機関 (AACSB (Association to Advance Collegial Schools of Business))  
アクレディテーション取得申請を行った。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

教職員の積極的な参画を促した。

経営管理研究科・国際経営学部を中心とした全学推進体制と事務局体制づくりを行い、AOL (Assurance of Learning) に関わっては、教職員を積極的に AACSB 主催のアセスメントセミナー等に派遣 (延べ 39 名)、学内でもアセスメント専門家を招聘してアセスメントセミナー開催 (約 40 名参加) し、教育の質保証についての知識を修得した。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

2010 年 4 月 30 日に、アクレディテーションプラン提出し、7 月末に AACSB の 2 つの委員会より、アクレディテーションプランが正式に承認されたとの通知を受け取った。今後は、アクレディテーションプランを実行に移し、2011 年度と 2012 年度に年次報告書を提出、2013 年度に自己評価報告書提出、ピアレビュー (実地審査) の流れとなる。

このアクレディテーション・プランに計画されている AOL の具体化と実践を通じて、学部・大学院全体の教育の質保証を組織的に図ることが可能となった。また、AACSB が示す教員資格基準をクリアすることを通じて、教員体制の強化を図ることも可能となった。